

## 第38回 大田区移動等円滑化推進協議会 議事録

令和7年6月6日(金) 10:00~12:00

区役所本庁舎 11階 第5・6委員会室

### ■出席者

委員 41名

事務局 8名

傍聴者 5名

### ■議事

- (1) 令和6年度特定事業等の進捗状況について
- (2) 令和7年度のスケジュールと取組について

### ■事務連絡

- (1) 大田区移動等円滑化促進方針(令和7年度3月見直し)の配布について
- (2) 資料に関する意向アンケートについて
- (3) 合同部会について
- (4) 次回の協議会について(予定)

### ■配布資料

- ・次第
- ・協議会委員名簿
- ・大田区移動等円滑化推進協議会設置要綱
- ・委嘱状
- ・座席表
- ・資料に関する意向アンケート
- ・導入資料:大田区における移動等円滑化の取組について☆
- ・資料1:令和6年度特定事業等の進捗状況について☆
- ・資料2:令和7年度のスケジュールと取組について☆
- ・(参考資料)大田区移動等円滑化促進方針おた街なか“すいすい”方針  
大田区バリアフリー基本構想おた街なか“すいすい”プラン ※  
大田区バリアフリー基本構想おた街なか“すいすい”プラン特定事業計画 ※  
☆電子資料併用  
※終了後に回収

### ■委員の委嘱/委員長・副委員長の選出

委員からの推薦について異議なしで、委員長・副委員長の選出がされた。

### ■質疑応答/意見交換

#### 1. 令和6年度特定事業の進捗状況について

D委員: 教育啓発事業での接遇教育の実施について、13ページに記載の通り、京急バスでマナー講習を実施した。東急バスでも講習について掲載しているが、知的障がい者に対する内容も講習の中でお願いしたい。  
また日頃、知的障がい者の対応が可能な病院を探すことが難しいこともある

ため、蒲田病院の接遇教育についてどのような内容の研修であったか教えてほしい。また研修の内容に知的障がいに関する内容も含めてほしい。

E 委員： 東急バスでの講習内容について、この場での回答は難しいが、社内での確認を行う。

事務局： 蒲田病院での研修について、事務局としては毎年実施する特定事業進捗状況調査で情報を頂いているが、今回いただいた情報は、資料に掲載している内容のみであった。

今後は、参加人数や研修の内容等、より詳しい情報の収集にしていけることを検討している。改めて情報を収集してお伝えする。

D 委員： 是非内容の把握をお願いしたい。また、その研修の内容について改善の余地があれば協力したいと考えている。

F 委員： 蒲田病院に限らず、地区内の全ての病院に対して精神障がいに関する研修もお願いしたい。精神障がいのある方は待ち時間が苦痛になってしまうことがある。

20ページのハローワークの取組について、「精神・発達障害者しごとサポーター養成講座」を非常にありがたく感じている。引き続きお願いしたい。

A 委員長： 是非ハローワークには事務局から意見をお伝えいただきたい。

G 委員： 18ページの東急電鉄のホームページ記載の情報について、目安値を満たしていると車いす利用者の利用時に何か変化はあるのか。単独で乗降も出来るようになってほしい。

JR ではホームのピンクに塗られている部分では単独で乗降が出来る様になっており、東急電鉄でも是非取り組んでほしい。

目安値を満たしていても駅員のサポートは必要になるのか、確認したい。

H 委員： 目安値は国交省の基準になり、これを満たしていた場合の単独での乗降についてはご自身でご判断いただく必要がある。

しかし、基本的にはどの場所でも駅員の介助を受けることは可能である。

G 委員： 単独での乗降が可能であると判断した場合、駅員は単独での乗降を認めてくれるのか。

介助を待っていて何本も電車を乗り過ごした経験があるため、単独での乗車が可能である場合は、それを認めていただけると時間的に安心できる。

H 委員： ご自身で可能であると判断した場合、単独での乗降を駅員から止めることはない。過去の事例を通して、要請がなくとも見守り、こちらから声をかけるということが染みついているが、しっかりコミュニケーションをとってサービスを提供することが重要と考えているため、ご意見については社内で共有したい。

B 副委員長： 特定事業の進捗率が非常に高いことは事業者と区内の当事者団体の皆様の取り組みの結果であり、今後も期待が持てる。

交通安全特定事業の進捗率も高く見える。しかしながら、部会等でも議論になった「信号機の間隔が短い」といった、高齢者や歩行に不自由がある方にとっての課題について、歩行者のことを考えた信号制御が必要な段階であると考えている。

車の交通量との関係もあるが、こういったことは区民から申し出ることがとても重要であるため、今後ともご協力いただきたい。

I 委員： 12ページで各鉄道会社で社員研修をされているということであるが、研修の講師はどのような方が教えて頂きたい。

- H 委員：ここで詳しい内容までの回答は出来ないが、研修等により、すべての駅係員がサービス介助士の資格を取得しているという状況である。
- J 委員：全ての駅係員がサービス介助士の資格を取得に取り組んでおり、新入社員向けに視覚障がい者研修、サービス介助士の資格取得のための研修を実施している。
- また、以前京急久里浜駅にて白杖がドアに挟まっている状態で発車してしまい視覚障がい者の方が転倒するという案件があった。その後当事者、介助者の方から研修をいただくなど、コミュニケーションを取りながら求めるサービスを提供できるように取り組んでいる。
- C 副委員長：1 1 ページから記載のさぼーとぴあは会議等でよく利用している。以前、さぼーとぴあの近くのバス停に車いす使用者の方が 3 名いらした時があり、1 名の方はバスの利用を諦め、2 名は乗車していたが、発車までにかかなり時間がかかっていた。
- さぼーとぴあ周辺はもう少し円滑な移動が出来ないかと考えている。企業の方を含め、是非円滑な移動に向けてご協力をお願いしたい。

## 2. 令和 7 年度のスケジュールと取組について

- A 委員長：1 月の協議会で今後の方向性を示すとのことだが、スケジュールによると、早い段階でアンケート調査等行うとのことである。
- 可能であれば、今後の方向性の案として、骨子案等をあらかじめ各事業者へ共有できると、その後の事業の協力を依頼しやすくなると思う。
- B 副委員長：東京都の既存のマップをはじめ、様々なバリアフリー情報が集約されているが、実際に当事者の方々は活用されているのか。
- 既存のマップが活用されることで、改良につながるという面もあるため、既存のマップが活用がされていないのであれば、もったいないと思う。
- また、合同部会は参加する事業者の方にもメリットがあると良いと思う。
- まち歩き点検については、各年の点検箇所等の予定を出しておけば事業者側も事前に準備等ができると思うため、可能な限り今後の予定を公開した方が良い。
- G 委員：都の既存のマップについては、サイト自体を知らなかったため、今後調べたいと思う。
- また、普段は Google のストリートビューを利用しているため、その情報とサイトでの情報等がリンクしてくれると良いと思う。
- D 委員：京急バスとのマナー講習の打ち合わせの際に、実際に起きた多くのトラブルを教えて頂き、その対応について話し合いができた。是非合同部会では事業者の方から対応に困った事例の相談等をしていただける会にしたい。
- F 委員：蒲田駅西口からの東急バスの利用で、運転手の対応が非常に良いという声を伺っているため、この機会にお礼申し上げたい。
- E 委員：池上営業所に限らず、全営業所で全社的に接客教育に取り組んでいるところである。営業所には伝えたいと思う。
- C 副委員長：合同部会は会議形式ではなく、円形の配置等で開催したいと考えている。
- バス会社、鉄道会社からは現場の方、ドライバーの方の意見を伺いたいと考えているため、是非ご検討いただきたい。
- K 委員：京急バスについても、非常によく対応して頂いている。以前に協議会でお話ししたバス停での正着についても改善いただき、大変感謝している。

Ｌ委員： 11月にデフリンピックが開催される。大田区では2カ所会場となっており、ビーチバレーとバスケットが行われるため、日程等も近くなれば共有する。

#### 4. 事務連絡

合同部会は令和7年10月ごろの開催を予定している。  
次回の協議会は令和8年2月ごろの開催を予定している。

以上